

第 61 回未来医療セミナー

2011.3.30 18:00~19:00

大阪大学医学部附属病院外来棟 4F カンファレンス室

セマフォリンによる免疫制御 ーセマフォリンは病気の鍵分子ー

大阪大学免疫学フロンティア研究センター・呼吸器免疫アレルギー内科

熊ノ郷 淳

セマフォリンは従来神経ガイダンス因子とされてきた分子群です。私たちは 2000 年に免疫系で必須のセマフォリン Sema4D の存在を明らかにしたのを端緒に (Immunity 2000)、その後免疫に関わるセマフォリンを次々と発見しています (Nature 2002, Nature 2007)。現在セマフォリンは種々の病気の鍵分子であることが明らかになり、新たな創薬ターゲットとしても注目を集めています (Nat Cell Biol 2006, Nature 2010)。私たちは、可視化技術を用いることで免疫細胞が体内を移動する際にセマフォリンがナビゲーター役を果たしていることも明らかにしています (Nat Immunol 2010)。今回のセミナーではセマフォリンと病気との関連を中心に紹介する予定です。



主催: 未来医療交流会
後援: 文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

連絡先: 未来医療交流会 (大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)
Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538
E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

MTR